

慕郷心を捨て
日來聖、親しく觀察した
しさく

頃日來學、親しく視察を遂げられしる東京商業會議所副會頭山料禮藏氏は、吾々在留民の爲めに贈された訓戒の中に「諸君が眞に日本を思ふならば、日本を忘れよ」と云ふ一句がある、之を皮相に考ふれば「思ふ」と「忘れる」ことは大きな矛盾の様であるが、然し篤じ稽古すれば決して左様でないことが判明する。

一體日本人は餘りに「慕郷心」が強い食つて生きて行けば却々動かうとはしない、適度燕歸の如きの様に、春出て秋歸る短期出稼に過ぎないのである。故に日本人の行くと歐米人などは偉いもの輩は多く、消極的で、或る一種の小説の材料を作るの外、遠大の計画などは薬にしたくも見當らぬのである。其處へ行くと歐米人などは偉いもの輩は多く、消極的で、或る一種の小説の材料を作るの外、遠大の計画などは薬にしたくも見當らぬのである。而して、彼等は恒に世界を自分の發展區域として心得、自分の欲する處は何等の躊躇もなく、ざしく行つて抜けるのであるが、此の日本人と、歐米人は、何うしても我が日本人の腦中から、此の極端な「慕郷心」を除き去ることは急務であつて、若しそを専門に附し去らば、我が民族は遂に瑞穂の樂園に於て餽死せねばならぬことになる、併し之を教ゆるとしても外國云へば、鬼でも住んでゐるかの如く考へて居る連中の多い日本の現状では、却々生温い抽象的教育位のでは徹底しないと思ふから、既に外國を在つて種々の恩恵に浴して居る吾々から、伯國の經濟は斯うだ、地理は斯うだ、社會狀態に斯うだと云ふ具

然るに在外の同胞は爲す事爰に出来ずして、唯だ利己一邊、且つ儲かれれば儲かる程浮腰となり、可成知かぬ間にヨリ多くの金を引抜つて歸國せんとするの風あるが、是等は矢張り『慕鄉心』の消極病に囚はれたる佛死黨であつて、大和民族發展の上から云へば、是れ程情けないことはないのでたる、故に吾々は眞に日本を思ふならば、軍人は生命を忘れて國家の爲めに戦ふが如く、吾々は郷里を忘れ、母國を忘れて、専心一意海外發展の鼓吹者となつて働くべきである。

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression. The background is plain and light-colored.

私は昨年十月日英、佛、伊、瑞、君て四五日前當地を發ちます時に、視察の積りであります。在中休戦條約が定を變更して敵に譲ります。



るたれら寄立に地當途歸の遊漫米歐
氏藏禮科山頭會副所議會業商京東

山西西面行報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi
Assinaturas
por Anno _____ 10\$00
,, Semestre _____ 5\$50
,, Mez _____ 1\$00
,, Semana _____ 80c

歐米視察談

て良いか悪いか半々まんまんで、行里ゆきさとは其その方がたを此この国くにに持もつて假まかまむ事ことを希望おほしするのである、そして諸君しょぐんが二十日の後巴里ごうぱりで再會さいえしましたが時とき大おほに發展てんぱんなされば夫めけ日本にほんの利益りせきがないので悠然ゆうぜん話を聞く事ことは出来でき益ますになるのであります。

ませんでした、然し新聞しんぶんなどに流布りゅうふ私は數回すうくわい支那しなに旅行りょこうしましたが、富せられて居る日本の提議ていぎに對し、北源ほくげんも多いだけに列國れっこくとの競爭きそきよも激しづし米べいが反對はんたいして居るなど云いふのは事實じじゆい、夫めだけ非常に仕事がやり難い

た
間
として立つやうになりましたのは實
に喜ばしい事である、然し油断大敵
と申します如何にして國運を維持す
るかの如きは、(一) 本筋の行
南記行

北米、の見た處では北米をして斯かる不平を終へたのは、日本に外ならぬと思ふ、而して此精神は強制的のものでなく自發的であつて、豫北米は、經濟状態が極めて悪いのである。忠君愛國を専有物の如く考へて居ます、日本も大戦の爲め正貨十六億九千九百九十九年四月参戦以來、北米は、飛な事實に突き、日本も日本本を擧いて支那に飛躍する云々野心はない様でありますか、是非共北米と提携の必要があり、「北米も日本も」日本親善に努めなくてはならぬと思ふ。歐洲に於ける迎日熱は非常なものであります、到る處日本品が獨逸品に代りつゝあるのを見る、従つて實業家は日本に接せん事を欲し、馬耳塞に於けるの兵士私に到着が新聞紙上に現るゝやうに七八十人の來訪者があつた、而して其の多くは實業家で貿易上の意圖が實に不の交換、日本品の貿易航路開始の危険極まります、が彼等との話題の重なるものであります、今後三十年間は獨逸も手をつけましたが、條件が慘酷非道との話を時々聞き出せないから此好機を逸せず日本貿易上永久に獨逸に代る覺悟で技術の改善を圖らなくてはならぬ、講和の条件が、我が國の條款を見て、私は首つて日露戰争の際太古山市街戦の跡を見て慘澹たるまことに感じます、私は首つて日露戰争の際北米は、のだと感じましたが、白國ブルツカル府の慘状は較へるものにならないのですか、北米は、のあります。

預け居り諸種の會社の株主となり吾等の様にコラリーエニヨにグラバタ着て年中貧乏して居る者は大分違ふと、夫れちや君も百姓になへたらざうだ云へば吾等はコラリーエニヨ着けて育つたから駄目だが、獨逸人は先天的野良仕事に馴れ小さい時から鍛えられて終日炎に働くも苦痛ぢやないのださ、茲に於てコラリーエニヨ亡國論を唱へたくなり來たり、其附近尙六七戸を訪問して色々と新しき穫物もがなご搜したるも何れも大同小異、九時馬車に乗りてより今午後四時、厚く書記君に禮を述べて本貨ホテルに歸り、午後五時二十分列車に投じ元來し道をサンタ・マリアに向ふ。

るやを知らず、我が身かと探す内貴婦人の背中より烟出づ、注意して消し止めたれど、あたら新調のブルーザに大穴を開け終りぬ、茲に於て貴婦人は殆んど泣き出さん空模様にて、此小ジヤボチース何故モット早く氣付かざりしむと仰せられぬ許り叱聲罵聲附近の冷笑と共に御氣の毒さ限りなし、思ふに此貴婦人は田舎のあまり上等ならざる處の主婦さんならんも、餘處の顔氣迄盛裝をこらせしも御里は何時か現はれて此始末なり、多くある伯國婦人の常ど只管に恐縮せり、若し獨逸人なりしならむには決して如斯美々しく空々しく飾らざるべく從つて滑稽の度も少なかりしならむと、飛んだ餘興に何時か時間も忘れてボルトダビットリヤ着驛前に一泊す。

根氏令息『たかし』俱樂部の『ゆたか』にのみ限らんや茶目性に潜在してゐるものである。いつ拾ひ取つたかボケツトに隠し持つたる炭のかけでキンゼデノベンプロの真中にあるきながら宮島博士の歩いた後へスザを引いて『ソレ博士が黒い小便をした』これが大茶目の所業である。

ある時さる所にて御馳走のことあり。菴多鰐蟹松屋ケエシヨガヤアダ伯國人獨逸人日本人。三鞭酒がボン／＼と音たてる三味線がジャンジヤンと鳴り初める雨がしそじこと降り續ける私はうとうと睡くなつて來たわい。

グワルジヤで馬車も走らせたし聖港は勿論ボンタダブライヤからブライダランデまで自動車を再三飛ばしたしもうなすこともなく困つて旅は矢張り博士と一所に限る。芋の子だと思つて食つたら栗だつた。家の後の丹波栗も永く味はぬ。蓄音器が帝劇女優の囃しをやりだしました。妹の學校の休暇になるのを待つ間毎夜／＼二十五錢の追込によろこんで通つたことなど懷ひ出した。

いつかの日曜日本俱樂部で晝飯を食つて後四五人のなはつた。妹の學校の休暇になるのを待つ間毎夜／＼二十五錢の追込によろこんで通つたことなど懷ひ出した。

卓に残つての茶飲話に江越技師が『ベンソンで飯食て貸間に歸つてねつころがる程さびしいものはない』と、さうですよ、三十すぎてベンソンの飯くつて蓄音器で流行節の勉強するなぞあまり賑かな海外發展ではありません。

六年前神戸を立ちし時に返り五月十日に聖港を去る。

十日前十一時半我等の乗つてゐる『ベストソリ』はサントスを出た。みんな名残を埠頭の見送り人と惜しみ合つてゐる。インテルナショナルホールのせいか高い足早に歩く別嬪が呉れた砂糖蔗の端にハンカチつけて飯野氏は振りたてる。僕は『エスターード』を擴げて振り廻した。此時奥様初めて金縫の眼鏡かけた。

僕は急に人の見て居ない方が見たくなつた。グワルジヤに向いた右舷

に露西亞踊りの踊り娘がひとりさびしく白い細い長い柔かな指を頬にあって物思に沈んでゐる。金髪を結ばず赤青色鮮やかな牡丹模様の肩掛けに投げ懸け繪具に疲れた臉には長いまつげが時々動く。僕はグワルジヤの山を眺める振りして此の女優の上に舞臺に柔かな腕長い足を振り廻して若い女の誇りを心残りなく見せびらかした女優。でもお前にも物のあわれと云ふものはあるのかい。云ふ質問の原稿を胸に書いた時に飯野氏が砂糖菓をテコにして僕を顛覆せんと陰謀してた最中であつた。

して了ふ事があるこれはフェリーダ
ブラー婆と最初は極く紛らはしい状
態なので時々間違れる、フェリーダ
の注射をしても治らない漸々進んで
行く仕方なしに聖市に出て漸く治
るのを見ました、貴方のも結塊が鼻
口内に余り澤山に溜る時に出血する
等と云ふ點は少し警戒する必要がある
るフェリーダの本塙だから直ぐそれ
を断しても无けない。

●問 私事昨年一月出産後七日目に
一寸事に驚き俄に頭痛起り同時に腰
下足に掛けシビレ冷へ渡り早速醫師
の治療を受けしに子宮病にて多大の
薬品服用候も其効なく先日突然熱起
り候故早速熱引き薬用ひ直に解熱
致し候も現今アバラ下部氣味悪しく
する様にて心配致し居り候療法藥病
名等を御教示願上候。(二十一才女)

○答 これ丈けの容態では的確と何
病と診断する事は困難です、然し小
水が濁つてゐるご云へば子宮計りで
無く尿道炎或はボウコウカタル何れ
かがある様に思はれます、子宮内膜
炎なら白帶下があり尿道ボウコウな
どに故障ある時は小水が濁ると同時
に放尿時痛み或は小水に度々行く様
になる、但し慢性になれば小水濁る
のみの事が多い、けれどもそれ等の
容體が明確でない、差當りの手當と
して下腹部に温湿布を一日數回行い
それに白帶下あらば子宮を一日一回
温湯(四合位)で洗潔すると宜敷し尙
毎日體の衰弱する様に感ずるのは神
經のせいと思はれる、病は氣からど
申して氣の持ようて大變影響致しま
すから一概に悲觀計りなさつてはい
けません。

美利具比殖民地

タコロニー殖民事務所
Escriptorio da Fazenda Itacolomy

○當社は水質良好、氣候溫和なる珈琲其の他他
の全作物に適する肥沃地にしてビリグヒ、
アラサツーバの二商業地をさし控へたる絶
好殖民地を廉價且つ拂込方法を最も容易に
して日本人諸君に提供す

○當社は千三百家族の各國土地購入者を有し。
其の中三百家族の現住日本人あり創設以來
日尙淺きにも不拘道路四通八達し且つ兒童
教育機關の設備等あり益々同胞の永住的基
礎を鞏固にする

○當社は當地入植者に限りバウルウ、ビリグ
ヒ間の無賃乗車券を交付す

御用の向きは左記宛御照會ありたし

The San Paulo Land, Lumber & Colonization Co.
(Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de São Paulo)
Est. Briguay. Linha Bauru-Itapura (antiga Noroeste).

土地賣却

豫期した如く Heitor Lagré 駅はノロエヌテ線に於ける同胞發展の中心となりつゝあるは私共の喜とする所であります。我れがちに押し寄せて來る殖民者の爲に今日のノロエヌテ沿線に殆んど私共の希望する條件に叶ふ土地を得ることが出來ませんのに、獨り吾がエール、レグルー驛は極く最近迄十人が居住して居つたために其發展を阻害せられ、天與の富源を有りの儘に残して置かれたのは恰かも私共日東男子の爲めに神様が供へてくれた様なものであります。

今回賣り出す土地は「サンバウロ土地材木殖民會社」の所有地で當殖民地と隣接し 地質は所謂、バウダリヨ地帶で、其肥沃なる又河川による段々の成層にて、

◎各國電報

◆獨逸講和條約に調印せしんば 獨逸が萬一講和條約に調印せざる場合に備ふるが爲め聯合軍總司令部は現今占領しつゝあるライン河右岸區域より八十キロメートルの地點に進軍すべき命令に接したり、英軍は既にルールを占領せら（バシレア發五月卅一日電）

◆羅馬の同盟罷工 當市の機械工場職工七千人同盟罷工を企つ、若し資本家が労働者側の要求を拒絶せんか忽ち總同盟罷工起るべしと觀測さる（羅馬發五月卅一日電）

◆フ井ンランド露國過激派政府に宣戰 ベルシン

◆國際聯盟假事務所設置 國際聯盟假事務所倫敦に設置されたり、該事務所は下院議場に接近せる頗る質素なる家屋の教室を專有するに過ぎず役員は數名のタイブライター係に限られ、備品としては數個の卓を有し電話一機を備へたり、事務は聯合國と交渉の上決定するに至るべしと（コツベンハーゲン發五月卅一日電）

◆巴里に於ける流行感冒の犠牲者 衛生局の統計に據れば巴里に於て流行感冒の爲めに死亡したる者昨年十月より本年二月に至る四ヶ月間に十九萬六千五百人の多きに及び、十一月のみにても三萬七千六百三十七人の死亡ありたり（巴里發三日電）

◆巴里に大同盟罷工起る ラ、ヴエリテー紙の記載せる所によれば去る二日同盟罷工に加擔して癆業せる労働者は巴里及び其近郊に於て五萬人に達したら、機械工場職工にして既に業を廢したる者二萬を超ゆべく又大商店の傭人及び裁縫女工、ベンキ職、メトロボリタン職工は本日午前孰れも癆業を揚言し、鐵道労働者全部も本日同盟罷工を聲言すべし、鑑山工夫五萬人は鑑山主に對し生活難を理由として賃銀の引上を要求するに至りたり（巴里發四日電）

◎雜報

三隅副領事

生

松村總領事が來る七月下旬の『かまくら丸』にて愈々歸朝と決定したる

多羅間書記生

リオへ向け出發

山科氏一行

五百万ミル寄附

山科氏

五百ミル寄附

多羅間輪湖

兩氏の歓迎會

帝國總領事館

將西

星製藥會社の星印薬が來た

特約販賣店

日本貿易會社

サンパウロ出張所

Nippon Boyeki Kaisha

São Paulo

用

九時五分の列車にてリオへ向け當地にて定刻に至るや黒石幹事歡迎の辭を述べ次で松村部長杯を擧げて兩氏當市近郊なるビリッパー停車場附近志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て慘死せる岡山縣人難波順次郎から取返へしのつかぬ怪我をする様に於て死去致候間此段生前辱知

正八八年六月六日

藤本佐四郎

火野口義男

中山龜太郎

星野勝藏

林新友

大澤健一

山田善十郎

大正八年六月六日

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

宮島博士の消息

ガアルバラインより

安洋丸にて歸朝か

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

同氏は前金御申込順ご御承知を乞ふ

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を抱いて伯國まで來つまらぬ事に於て死去致候間此段生前辱知

諸彦に御通知申上候

追て遺骸は昨五日フレゲジヤ共同墓地に埋葬仕候

同氏一行は海路亞爾然丁に渡り同國の安着を祝し多羅間氏答禮を述べて視察の後『さぬき丸』に便乗ケーブ後酒宴に移りたるが互に親睦の間柄（別名正哉氏の死體は去る四日當市タウンを經て新嘉坡に上陸其れより南洋及び臺灣を察視の上九月中に東京へ歸着の豫定なり云ふ。

伯國に歸化せる

日本婦人

大戰中他國人は當國に歸化するを得

日本事務所の慶事 日本貿易株式會

岩淵家の慶事

星製藥會社製劑の星印『くすり』が今度新たに日本から到着しました

星製藥會社製劑の星印『くすり』は其の効能の大なることを皆さん御承知の通りですから茲には改めて申しません

ラツバ同胞會

馬車に轢れて即死

志を

婦人欄

貴翁篇講談

第三十五席 長兵衛平内の爲め
平内道場を設くること
夫りやまた何ういふ次第で阪田氏を
御存じなるや長ハイ詰らねえ事を
お聞かせ申して済みませぬ、實は小
哥の親は塚本伊織と申しまして元は
寺澤兵庫頭の家臣でござります、是
れでも元からの町人ではねえので、
ヘエ幼名は伊太郎と云つて居りまし
たが父伊織が死んでいたしまして跡は
本多様の御来、あの阪田藤十郎様
の御同役で櫻井庄右衛門と仰しやる
方の御屋敷へ奉公をして居りました
すると隣屋敷の槍術の御指南番
坂傳八郎といふ方が餘り傲慢無禮な
方で或時俺の主人櫻井庄右衛門様を
辱めた腹立紛れに櫻井庄右衛門様
からお暇を貰つて隣屋敷の傳八郎に
平「フムお世話になつて居らるゝと
夫りやまた何ういふ次第で阪田氏を
御存じなるや長ハイ詰らねえ事を
お聞かせ申して済みませぬ、實は小
哥の親は塚本伊織と申しまして元は
寺澤兵庫頭の家臣でござります、是
れでも元からの町人ではねえので、
ヘエ幼名は伊太郎と云つて居りまし
たが父伊織が死んでいたしまして跡は
本多様の御来、あの阪田藤十郎様
の御同役で櫻井庄右衛門と仰しやる
方の御屋敷へ奉公をして居りました
すると隣屋敷の槍術の御指南番
坂傳八郎といふ方が餘り傲慢無禮な
方で或時俺の主人櫻井庄右衛門様を
辱めた腹立紛れに櫻井庄右衛門様
からお暇を貰つて隣屋敷の傳八郎に
平貴方のお噂を阪田様よりも伺つて
居りましたと摘要んだる身の素性
平内は聞く度毎に感心して平「イヤ
左様承はれば先日阪田氏より白柄組
の話があつた時、貴殿のことも聞き
ました成る程夫れぢやア誰でも御存
じの等、イヤ有繫は寺澤兵庫頭殿の
御浪人、武藝と云ひ御精神と申し、
イヤハヤ天晴なるお心掛恐れ入つ
たと深く賞讃いたして居つた、さ
其夜は眼に就きなして翌朝と相成
つた、約束の通り平松慶三郎の屋敷
から黒羽二重の衣類に博多の帶、袴
から襦袢、何から何まで取揃へて持
参をいたしました平「是れは／＼何
うも忝ない」と夫れを着用に及びま
して度數を立出づれば、ハヤ酒肴の
用意が出来て居る長「サア平内様、
御悠然と召上つて下さいまし、追々
何か指へますから」隅へも置かぬ
待遇ひに平内は頭を搔いて平「イヤ
何うも……」と恐縮の體だ、實
に人間の意氣の合ふといふのは不思
議なもので平内長守と長兵衛とは僅
に一夜の馳染だが、もう百年も交際

千九百十九年五月

植民募集
エスタソン ボルト・ジョン、
アルフレッド
西原植民地
(停車場より一キロメートル)
Estação Porto João Alfredo
L. Sorocabana
土地の年期貸與、家屋、食料、其他に關し各種の
便宜を供し小資本を以て確實多量なる農産の
持主たらしむるを方針す
米、豆、カンナ、棉花、煙草等の收穫善美にして運
輸交通の便宜、衛生佳良なる経験を有す
明細書は御請求に應じ送呈す 猶ほ實地御视察
を乞ふ

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

日本郵船會社定期船

かまくら丸

伯刺西爾移民組合支部

Ibau Verguero 15, S. Paulo
アンツィーネス・ヌベ
キハヌス會社
(Caixa Postal 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo